

上郷・森の家 現地説明会・事前説明会 質疑応答

質問1: 体験学習の際の食事のメニューは何か。

回答1: 各食事のメニュー例は次のとおり。朝食（7時30分～）は、ベーコン、ウィンナー、ロールパン、スープ、昼食（11時30分～）はカレーライス調理（食材を提供）、夕食（18時00分～）は、とんかつ、添え物（キャベツ等）、豚汁、フライドポテト、ご飯である。

質問2: 対象を子どもに限定せず、幅広い世代としている理由は何故か。

回答2: 当施設は、市民へのふるさと意識の醸成を目的とした施設であるため、小学生向け体験学習もさることながら、一般利用者にも満足頂ける施設であってほしいという意味を込めている。

質問3: 想定事業手法について、総事業費のうち8.5億円というのは、施設更新だけに充てる予算と認識してよいか。あるいは、民間提案内容も含めた額なのか。

回答3: 老朽化対策として約3億円およびリニューアル費用として約5.5億円（施設の改修、用途変更する施設の改修）と想定している。ただし、この金額に縛るものではない。公募の時点で行うべき老朽化対策内容（更新設備）を明確化したい。

参考までに、金額の根拠については次のとおり。

施設リニューアル費用については、施設の状態からして畳や壁などの張り替え等、大規模な改修が必要であると想定し、他事例なども鑑みて試算した。さらに、バーデゾーン等の用途転換の可能性も踏まえて、市で仮に想定して試算した金額である。ただし、現況化での想定にもとづく試算であるため、今後、（見込み額が）変わることもありうる。

質問4: 利用人数の実績を示して頂けないだろうか。

回答4: 直近の平成27年度で宿泊が32,820人（体験学習16,277人、一般16,543人）、バーデゾーンが29,843人、野外炊事施設（バーベキュー場）が21,258人であった。その他詳細については資料1にも記載しているのでご覧頂きたい。

なお、その他施設で資料に掲載のない利用人数としては、工房が4,306人となっている。

質問5: 小学校の体験学習の受入は優先事項なのか。受け入れ上限などは設けているのか。

回答5: 現状では、月曜～水曜日の枠で受け入れているが、その枠を上回る申し込みがあるため、木曜日を準体験枠として受け入れを行っている。引き続き、月～水曜日は小学校の体験学習の枠として受け入れてもらいたい。カリキュラムを組む関係上、秋口に翌年度の体験学習の申し込み受付・抽選を行うので、事前に予約状況を把握することが出来る。

質問6: 修繕・更新履歴は提供してもらえるのか。

回答6: 公表を考えている。

質問7: サービス購入料の内訳には制限があるか。

回答7: 内訳に制限はないため、各社の工夫で、例えば、改修費用を削減し、運営に回すことなどは可能である。